

# 板柳町



(板柳町教育委員会撮影)

## かいどうじんじゃ 海童神社

町指定第 17 号文化財

指定年月日 平成 24 年 6 月 25 日

文禄 2 年 (1592) 豊臣秀吉が朝鮮征伐の際、津軽為信が海上安全・国土繁栄の祈願所とし、大川 (現在の岩木川) のほとりに建立した。

## しゃほう おみこし 社宝 御神輿

町指定第 17 号文化財

指定年月日 平成 24 年 6 月 25 日

文禄 15 年 (1702)、上方と往来のあった当時の豪商若狭屋儀兵衛が商用で大阪に上った前年、赤穂城主浅野長矩が江戸城中において吉良義央に対する刃傷沙汰で浅野家断絶となり、浅野家が発注したみこしの引取りがなくなり、若狭屋が買い取って海童神社へ奉納したもの。



(板柳町教育委員会撮影)

## ふかみはちまングう 深味八幡宮

慶長 5 年 (1600) 9 月 17 日、豊臣秀頼に小姓として使っていた津軽信建 (のぶたて: 為信の長男) と石田重成 (しげなり: 三成の次男) は、佐和山落城を聞き大阪城を脱出し、若狭小浜から総勢 21 人 (男子 18 人、女子 3 人) を共に津軽へ逃れ、深味の里に辿り着いた。

その後、徳川幕府の詮索と、津軽家への迷惑波及を思慮し、杉山源吾と名乗り深味に隠棲した。

(板柳町教育委員会撮影)



(板柳町教育委員会撮影)

